

カラコルムの地図作成小史と、今西さんのカラコラム探検の頃



カラコルムの地図作成小史と、今西さんのカラコラム探検の頃

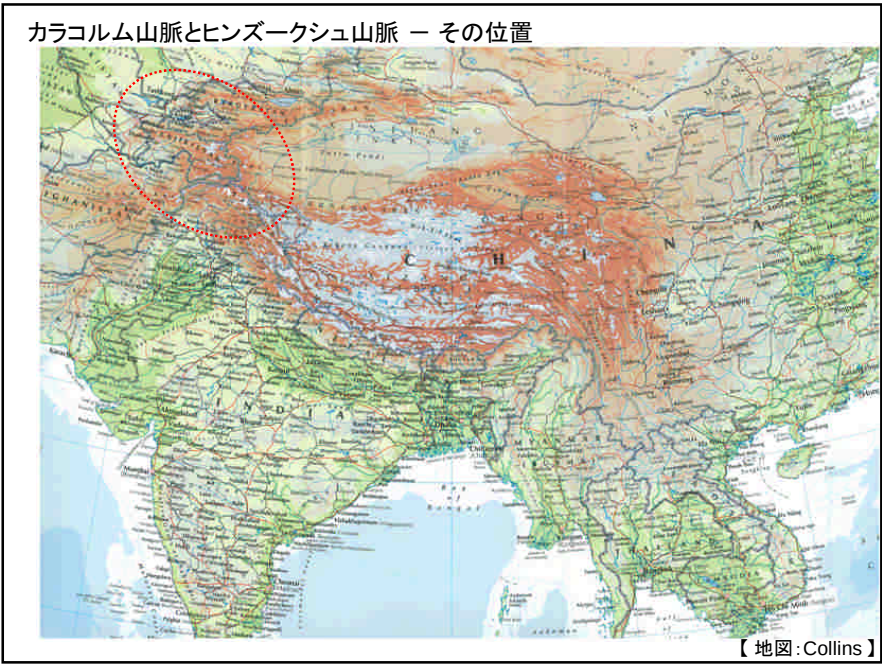


本日のお話し：

- 1. カラコルムの探検・地図作成小史 — 英露角逐の舞台であったカラコルム・ヒンズークシュ
- 2. 今西さんが関わった海外の調査と探検・登山活動（戦前と戦後復興期について）
- 3. 昭和30年「京大学術探検隊」の事績」（その、カラコルム・ヒンズークシュ探検）
— 日本隊による、その後の登山と地図
- 4. カラコルムの探検・地図作成史を彩った人々（写真紹介）← 時間の都合で割愛させていただきます

（長岡、1999 パルトロ氷河から見た夜明けのマッシャーブルム）

カラコルム山脈とヒンズークシュ山脈 — その位置



【地図：Collins】

1. カラコルムの探検・地図作成小史

— インドを統治する大英帝国と、南下政策の露との角逐の舞台であった

探検時代に作られた広域の地図(主なもののみ)

- ① Biafo & Baltro Gls. 12.7万図 / Conway 1892
- ② Biafo Gl. to Hisper P. 12.7万図 / Workman夫妻 1899
- ③ Dapsang Plains 25万図 / de Filippi 1913-14
- ④ Nanga Parbat 5万図 / 独 1934
- ⑤ Hisper-Biafo 約20万図 / Shipton1939

第二次大戦中とその後

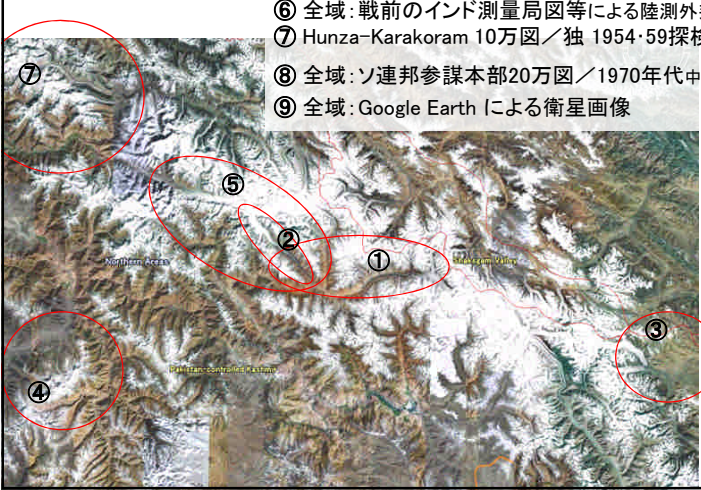
- ⑥ 全域：戦前のインド測量局図等による陸測外邦図とAMS25万図
- ⑦ Hunza-Karakoram 10万図 / 独 1954・59探検の編集図

現代

- ⑨ 全域：Google Earth による衛星画像

【前述の地図の対象地】

- ① Biafo & Baltro Gls. 12.7万図 / Conway 1892
- ② Biafo Gl. to Hisper P. 12.7万図 / Workman夫妻 1899
- ③ Dapsang Plains 25万図 / de Filippi 1913-14
- ④ Nanga Parbat 5万図 / 独 1934
- ⑤ Hisper-Biafo 約20万図 / Shipton1939
- ⑥ 全域：戦前のインド測量局図等による陸測外邦図とAMS25万図
- ⑦ Hunza-Karakoram 10万図 / 独 1954・59探検の編集図
- ⑧ 全域：ソ連邦参謀本部20万図 / 1970年代中心の10万図からの編集
- ⑨ 全域：Google Earth による衛星画像

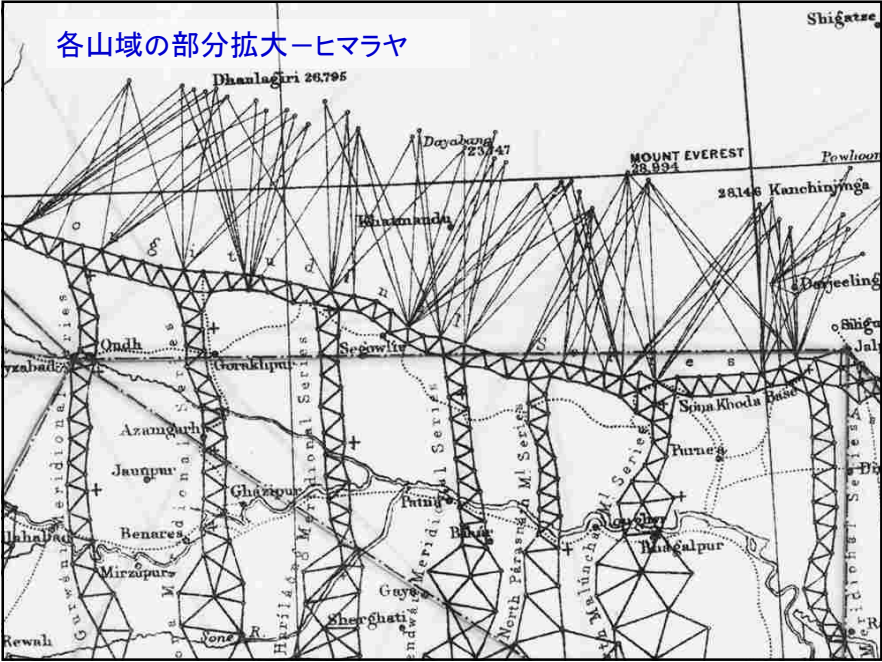


1-0. インド測量局による「インド大三角網」の完成
山々の位置と高さの確定

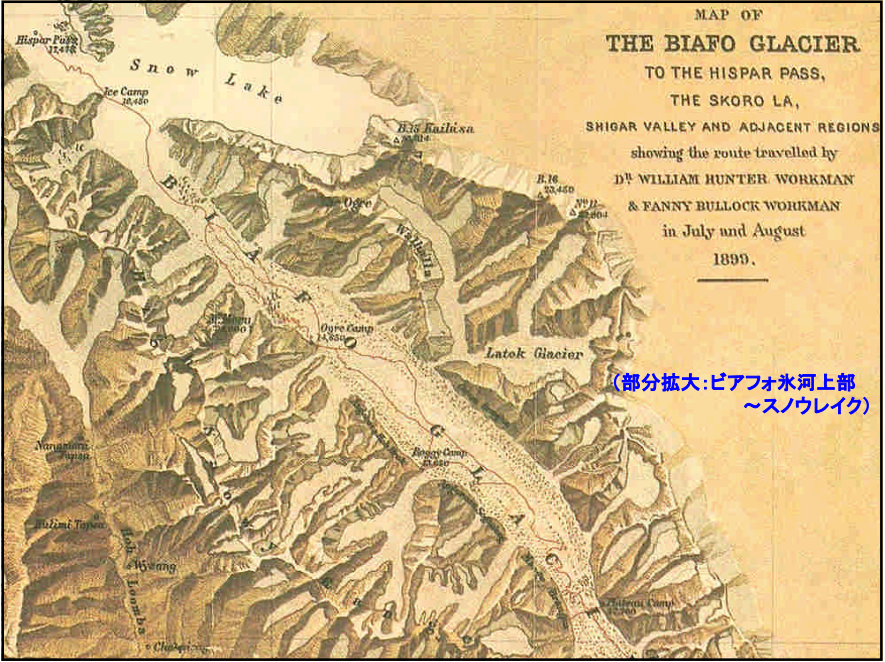
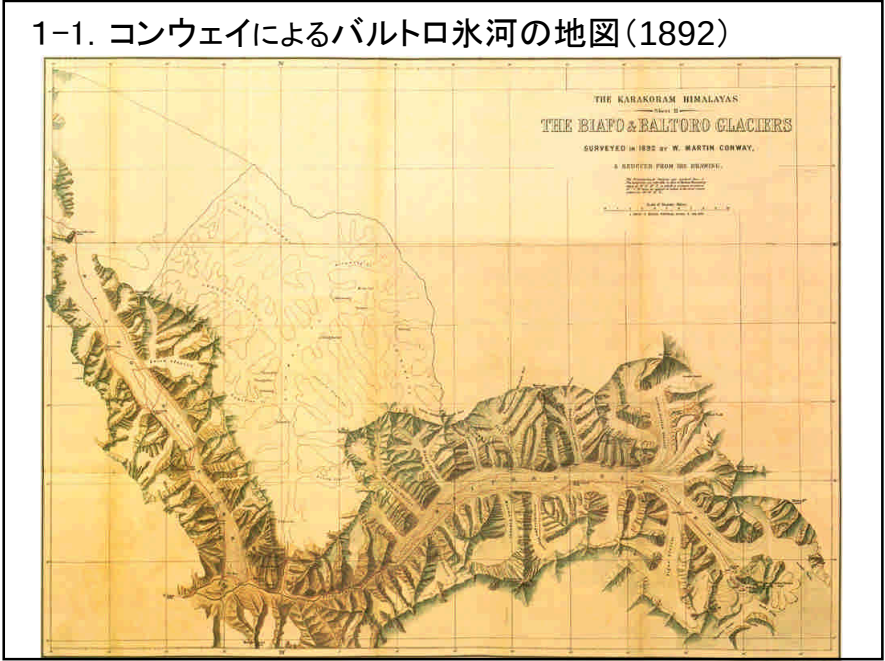
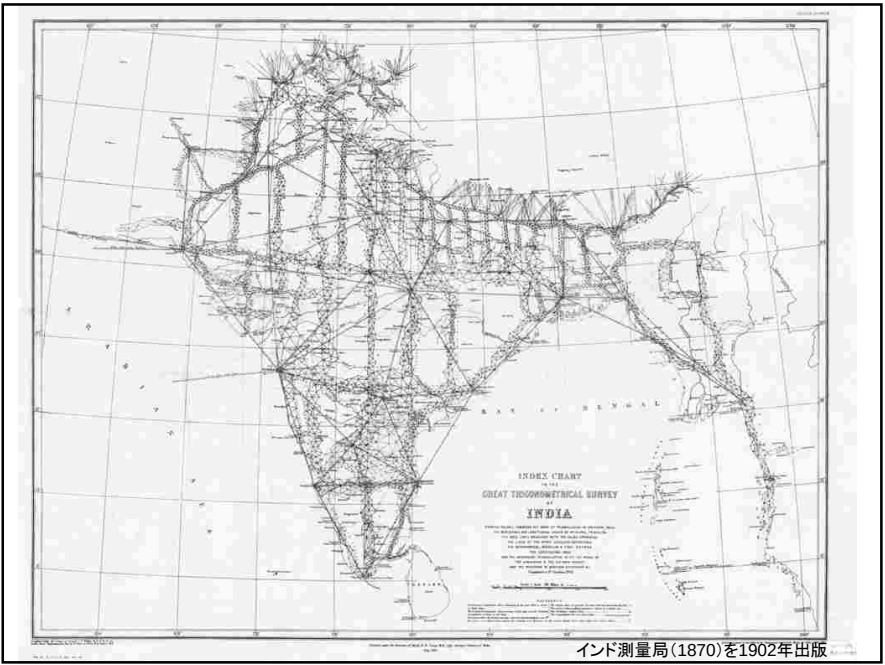
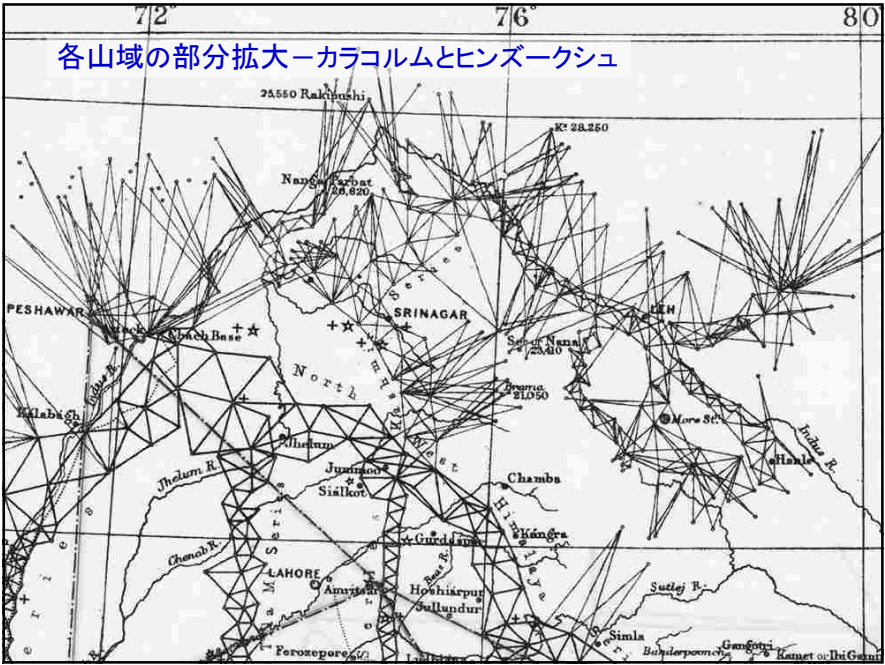


インド測量局(1870)を1902年出版

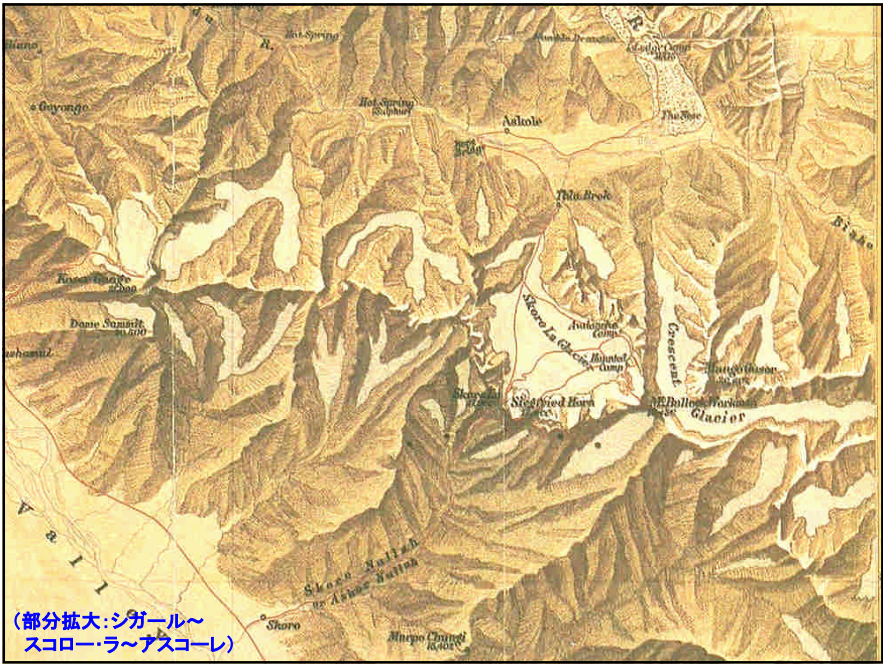
各山域の部分拡大—ヒマラヤ



カラコルムの地図作成小史と、今西さんのカラコラム探検の頃



カラコルムの地図作成小史と、今西さんのカラコラム探検の頃



この種の古い地図の利用例:ここ1世紀の間での氷河の変化?

バルトロ氷河
の末端部



上図 : 約120年前
Biafo & Baltro Gl. 12.7万図
/ Conway 1892
(100年以上前の、困難な条件下での
測量との前提でご覧下さい。)



下図 : 現代
Google Earth による

同 : 初期の探検時代と現代の中間として、ソ連邦地形図の利用

同じく、バルトロ氷河



上図 : 約120年前
Biafo & Baltro Gl. 12.7万図
/ Conway 1892

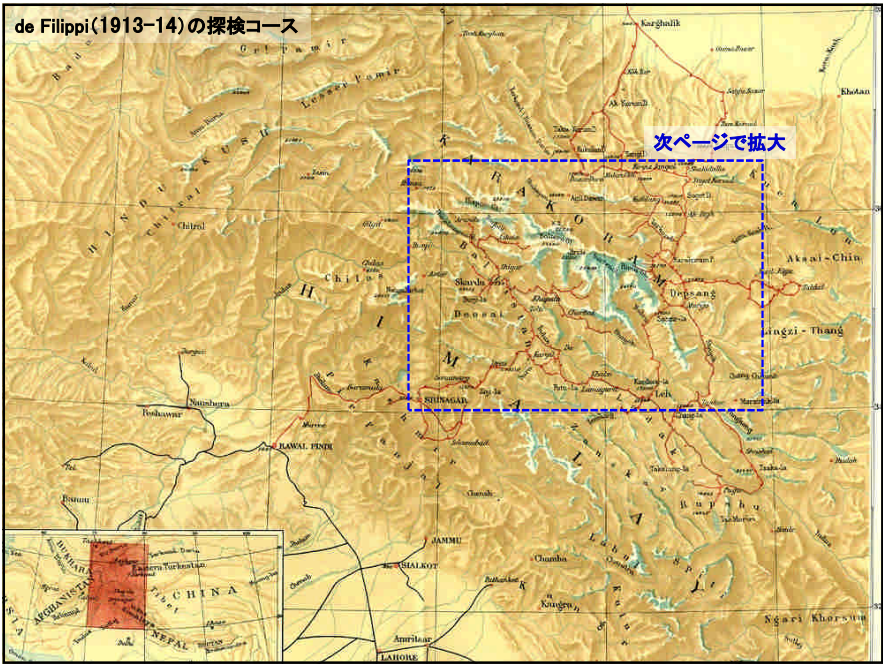
中図 : 35年前
ソ連邦参謀本部20万図 / 1976の10万図から編集



下図 : 現代
Google Earth による

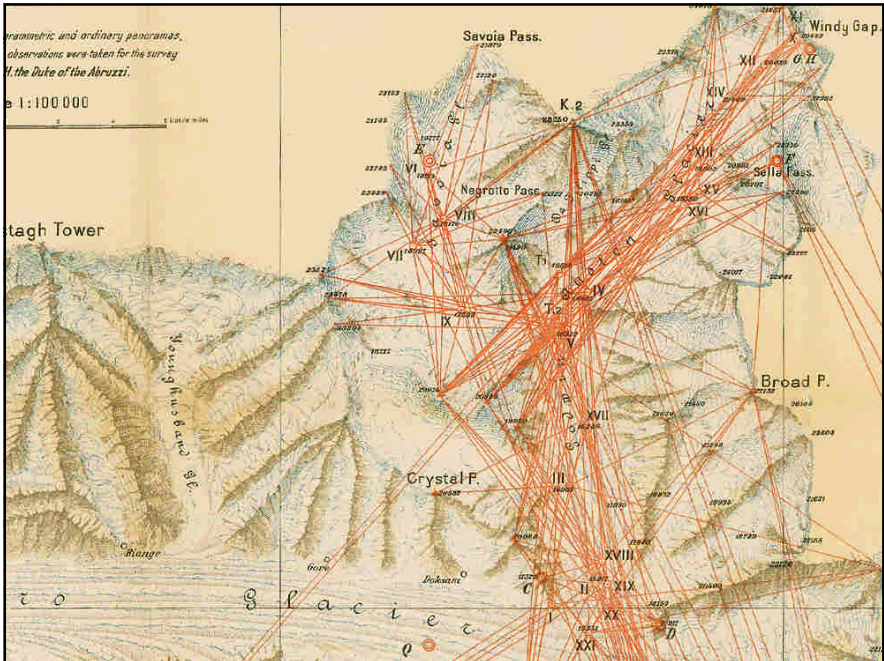
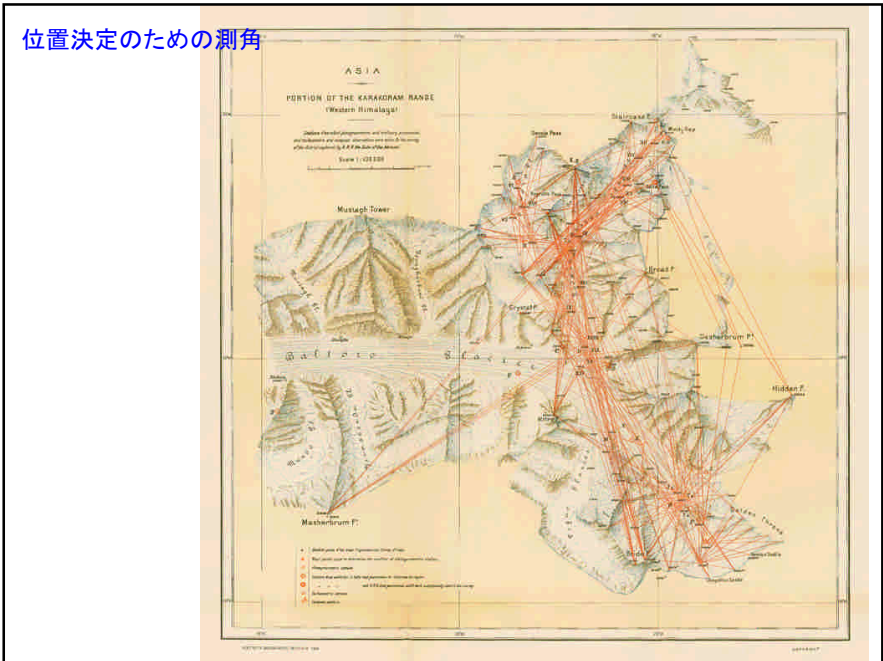
1-3. アブルツツィ侯探検隊(デ・フィリッピ)による地図(1913-14)

イタリアのアブルツツィ侯による東部カラコラム探検隊(F.デ・フィリッピによる) ここでは、
バルトロ氷河の写真の一部と、作られた地図(バルトロ氷河奥、K2等:測角方位を示す)をご紹介します

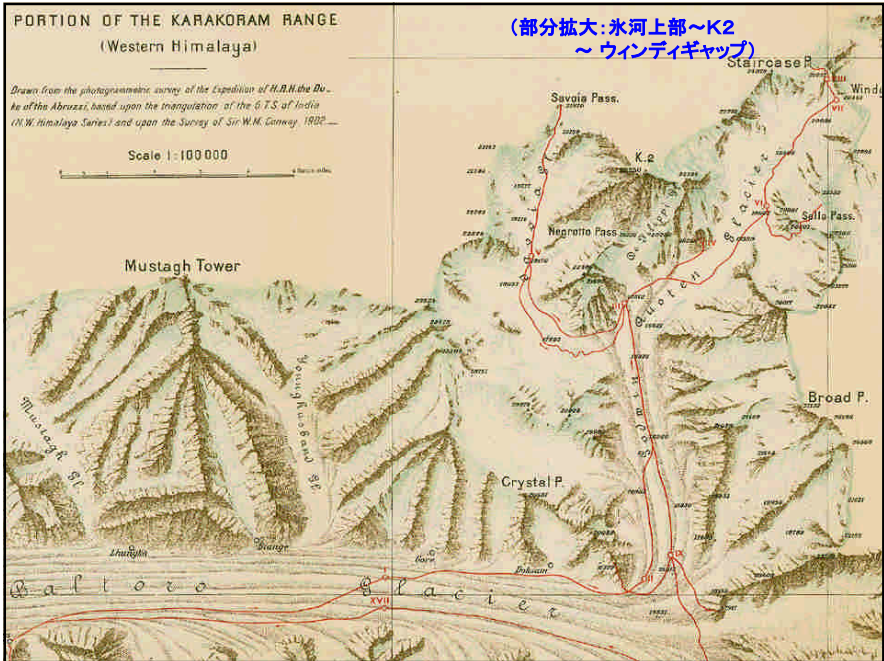
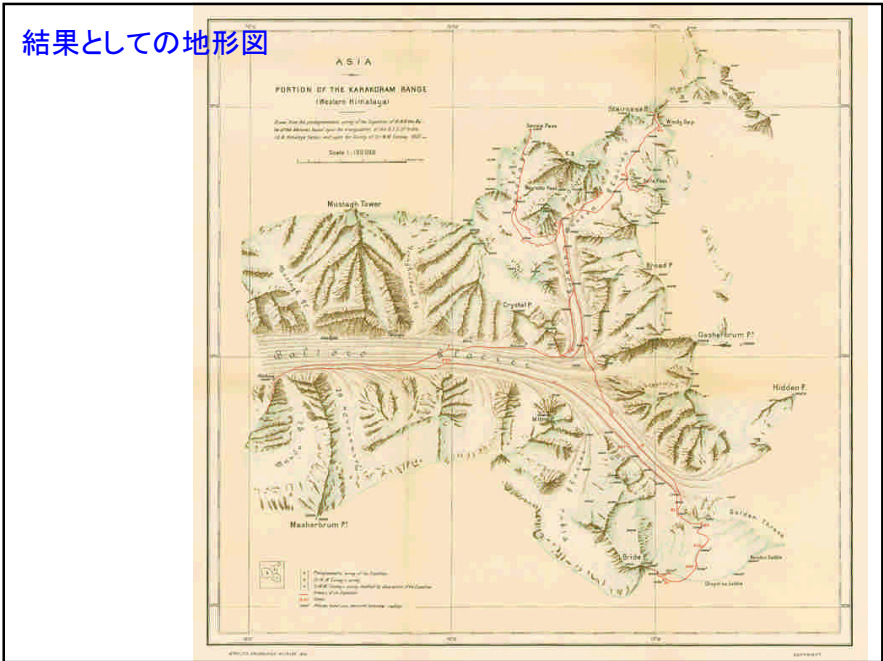


カラコルムの地図作成小史と、今西さんのカラコラム探検の頃

位置決定のための測角



結果としての地形図



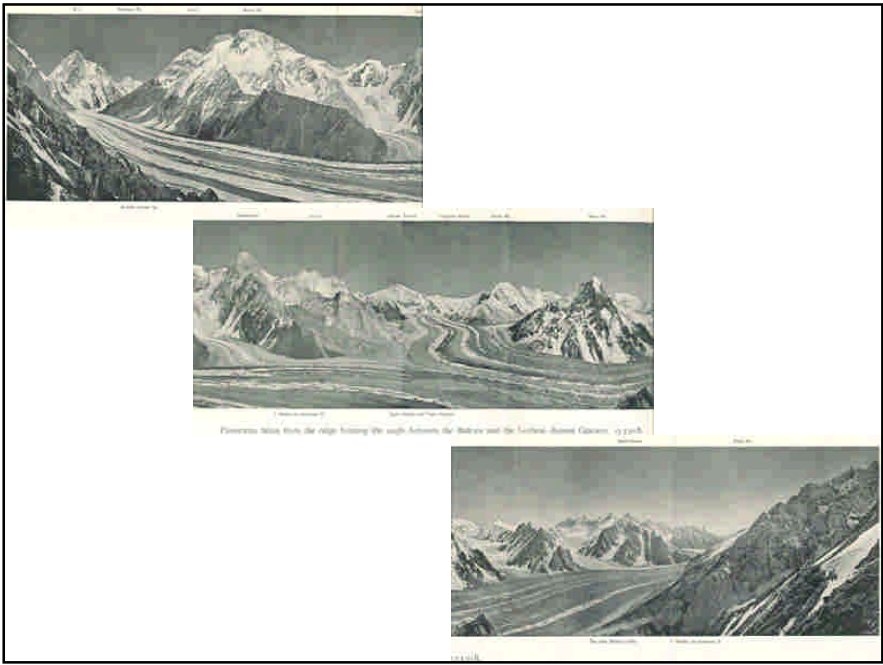
すばらしい写真の数かず：バルトロ氷河奥(コンコルディア)での周回写真



すばらしい写真の数かず：バルトロ氷河奥にて、少し高所より



カラコルムの地図作成小史と、今西さんのカラコラム探検の頃



De Filippiによる地図
デプサン高原とリモ氷河 (部分掲載)



前図より、リモ氷河の拡大



すばらしい写真の数かず：中央リモと、南リモ氷河



リモ氷河：当時と現在

1世紀前 (de Filippi, 1913-14)

現代 (グーグルアース)



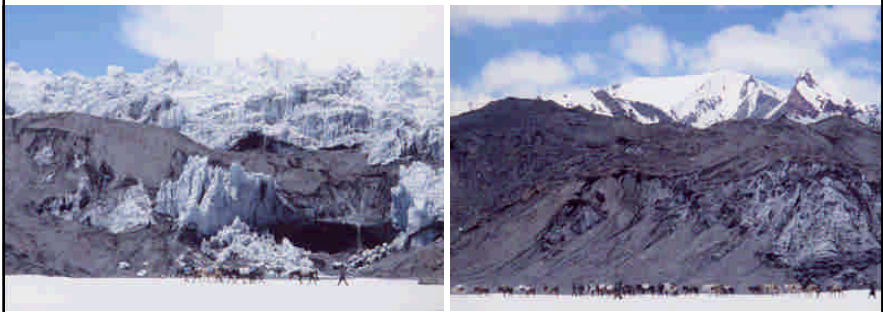
リモ氷河：現在の、その末端

(坂井広志/JAC, 2002)

1世紀前
(de Filippi, 1913-14)

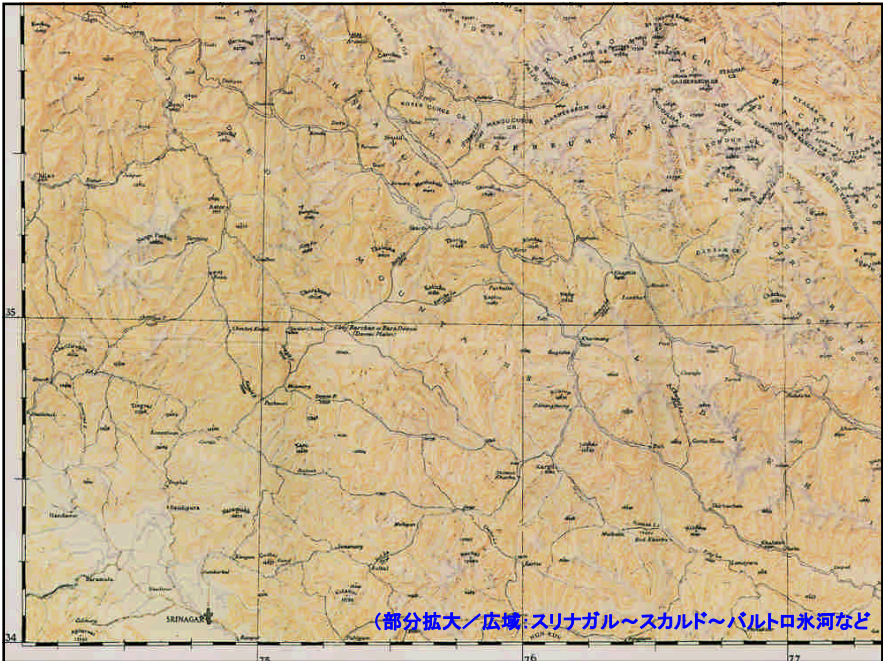
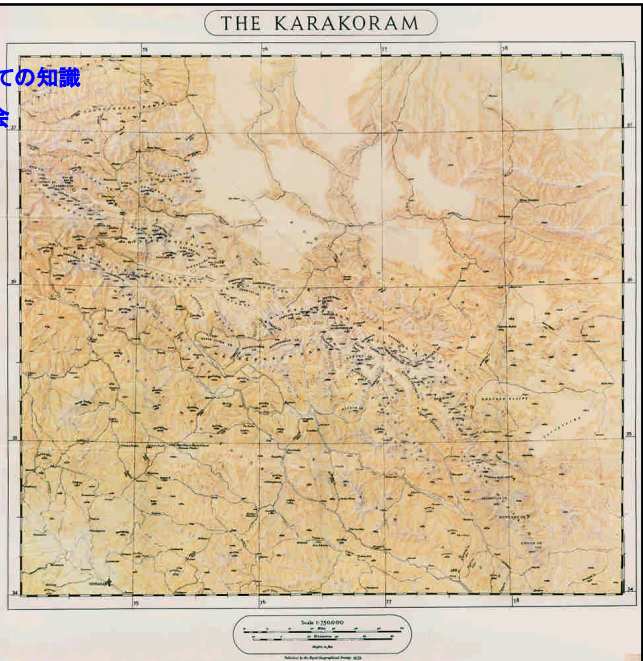
カラコルムの地図作成小史と、今西さんのカラコラム探検の頃

リモ氷河：現在の、その末端に接近



(坂井広志/JAC, 2002)

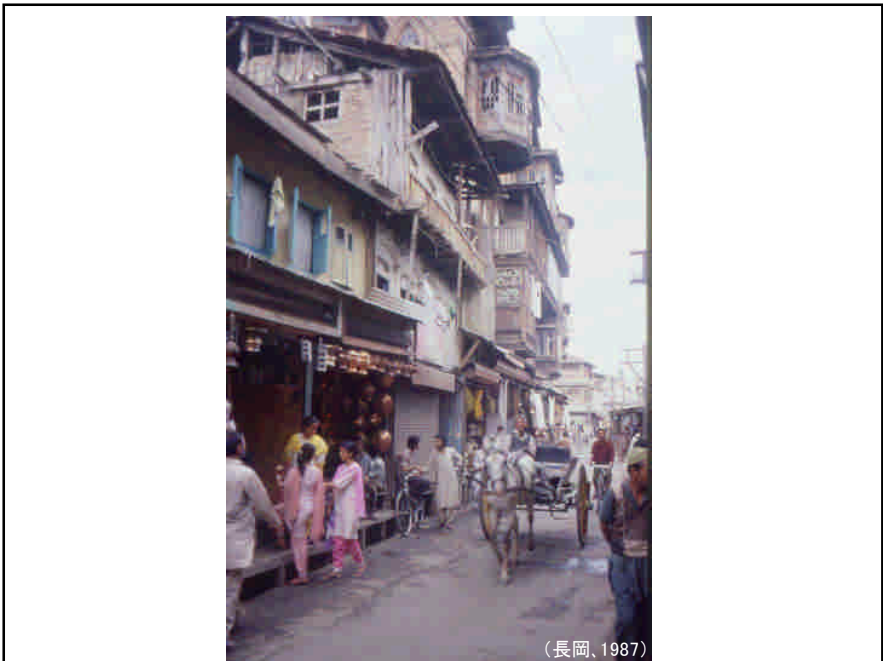
1930年代までの
カラコルム周辺についての知識
英国王立地理学協会
75万分1地図、1939



(部分拡大／広域: スリナガル～スカルド～バルトロ氷河など)



(部分拡大: スカルド～バルトロ氷河)

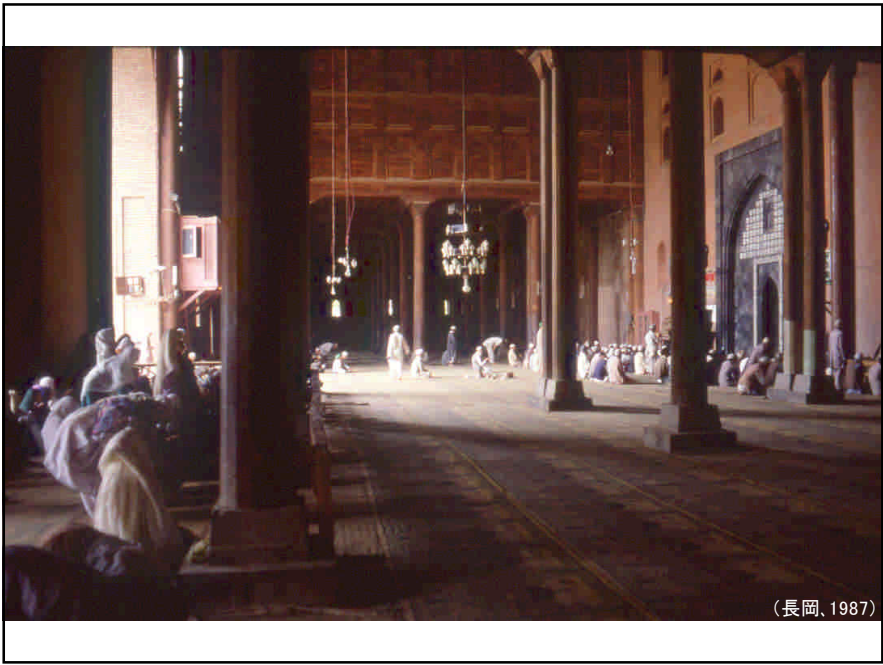


(長岡, 1987)

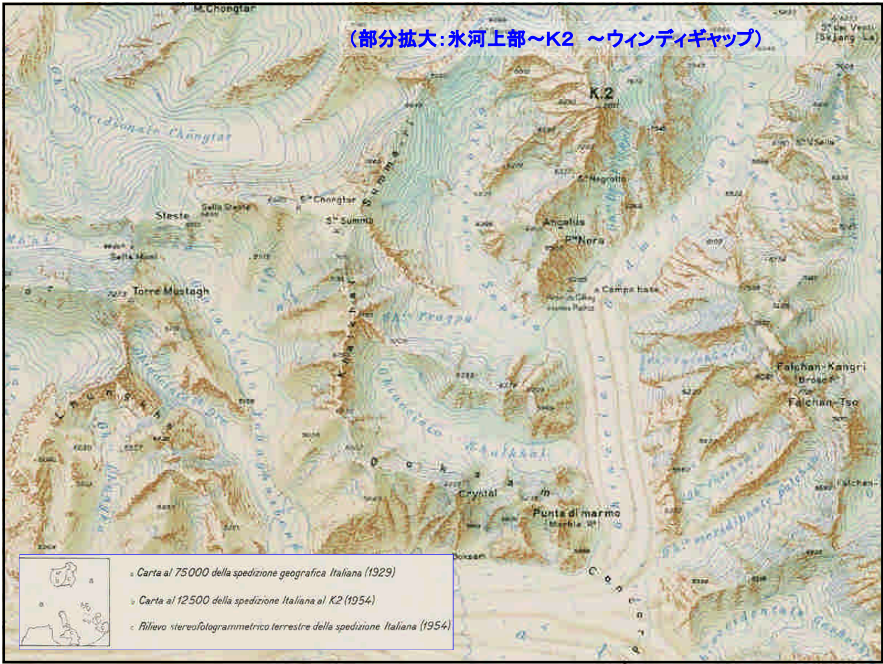


(長岡, 1987)

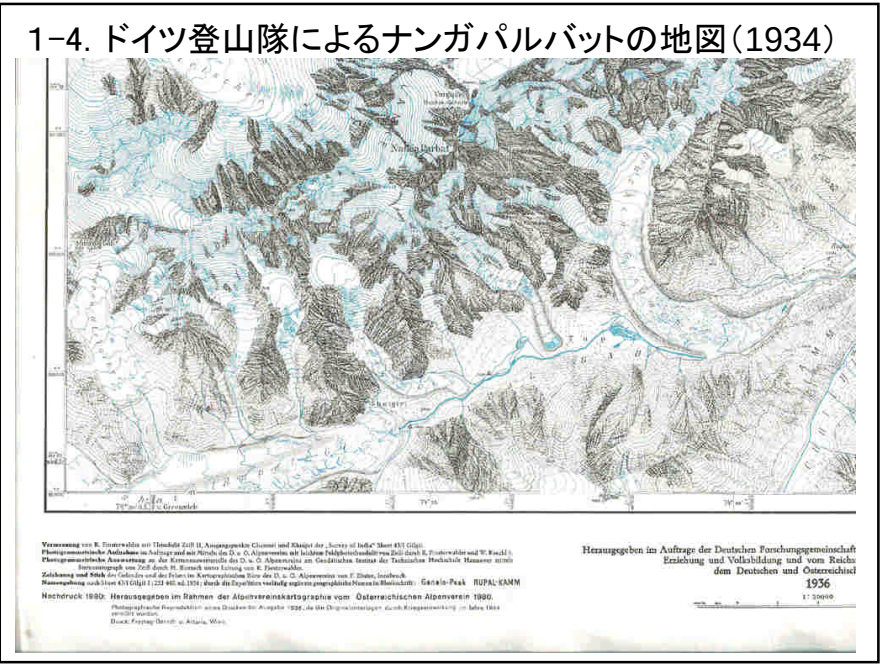
カラコルムの地図作成小史と、今西さんのカラコラム探検の頃



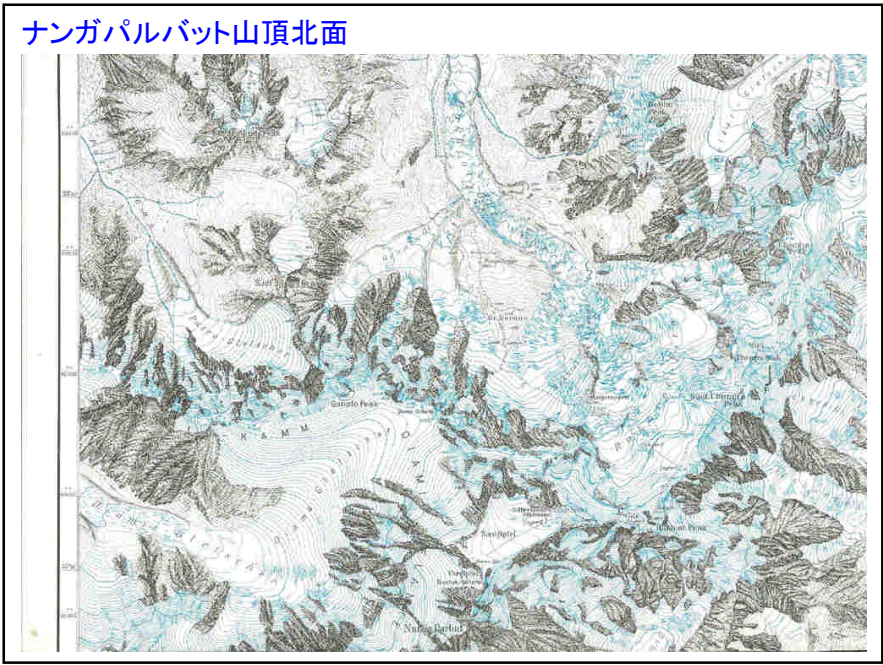
その後のイタリアK2登山隊の成果をまとめて作られた10万分1地形図



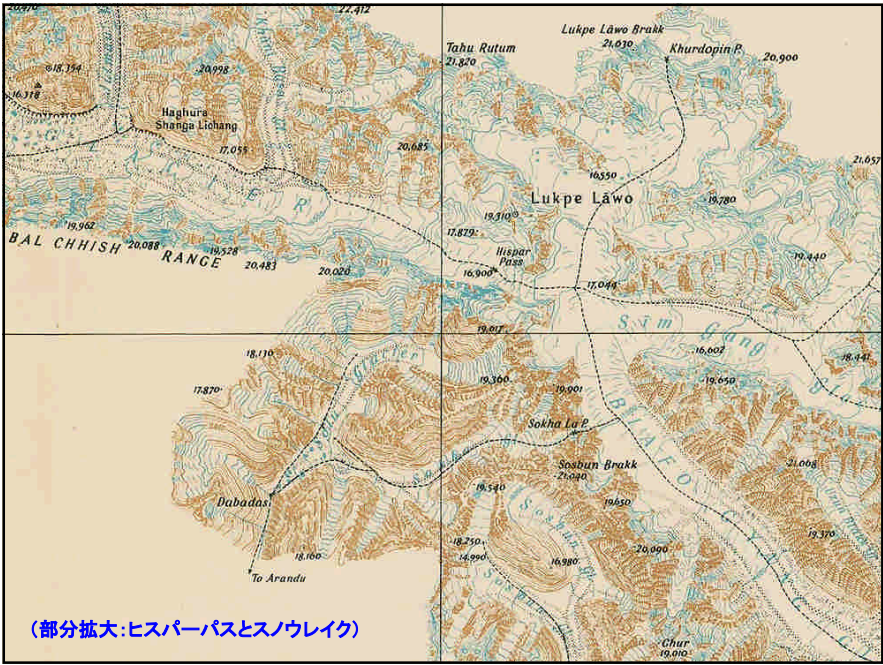
1-4. ドイツ登山隊によるナンガパルバットの地図(1934)



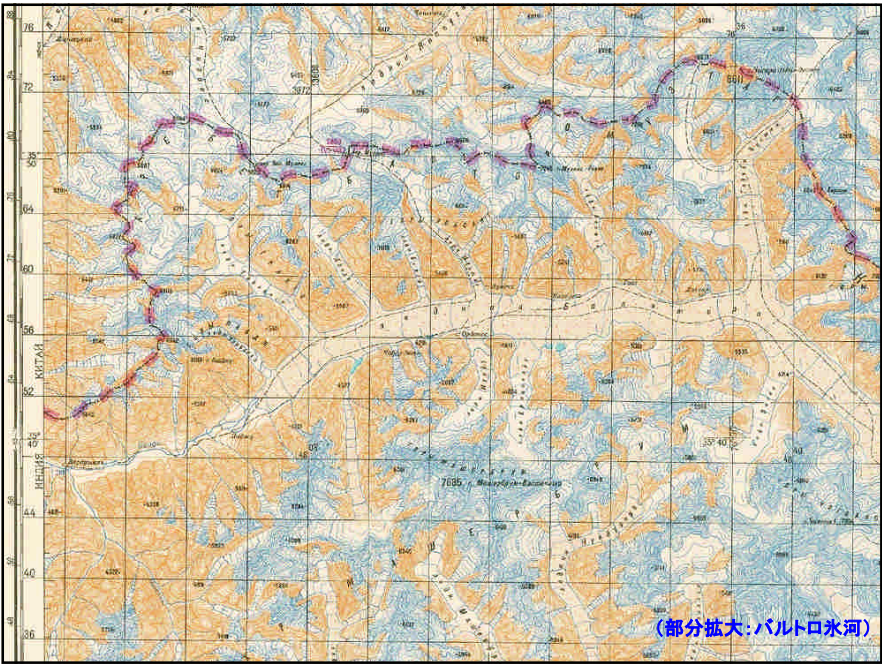
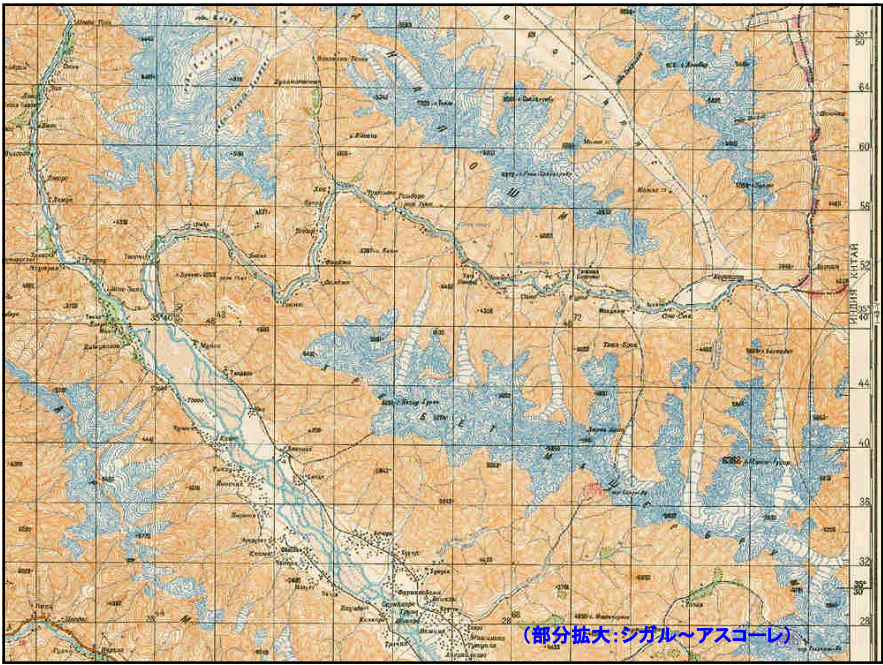
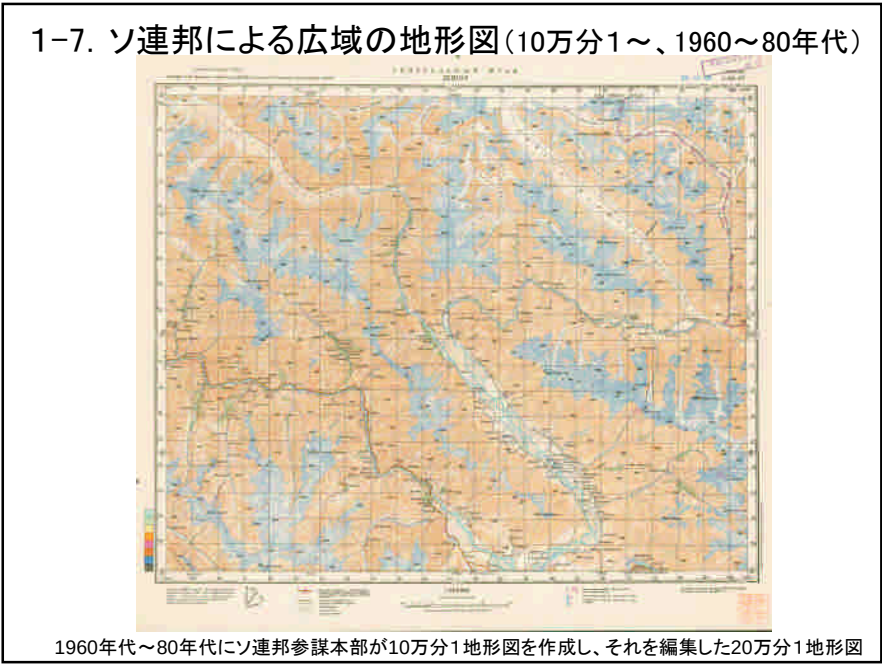
ナンガパルバット山頂北面



カラコルムの地図作成小史と、今西さんのカラコラム探検の頃

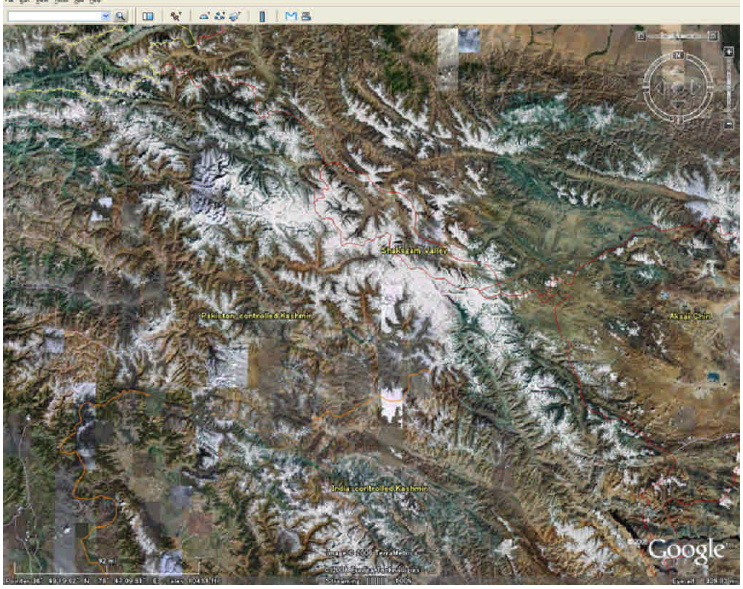


カラコルムの地図作成小史と、今西さんのカラコラム探検の頃

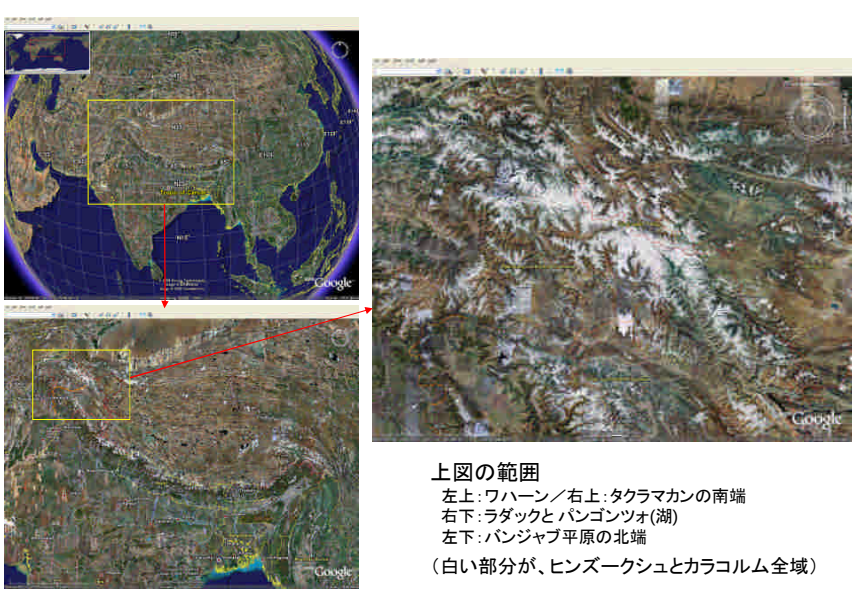


カラコルムの地図作成小史と、今西さんのカラコラム探検の頃

1-8. 現代の衛星画像(グーグルアースなど)



【現代:グーグルアースの地図の利用】



上図の範囲
左上:ワハーン/右上:タクラマカンの南端
右下:ラダックとパンゴンツォ(湖)
左下:パンジャブ平原の北端
(白い部分が、ヒンズークシュとカラコラム全域)



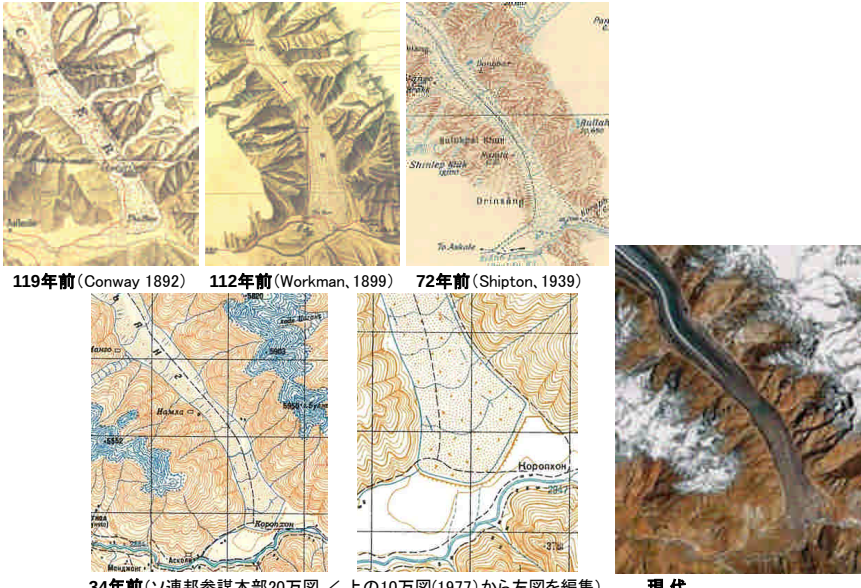
それらの利用:時系列的に見る地形図と衛星画像:ピアフォ氷河

【氷河末端について、各図の拡大を次ページに】



約120年前 (Conway, 1892) その7年後 (Workman, 1899)
72年前 (Shipton, 1939) 現代

同 さらに詳しく:ピアフォ氷河



119年前 (Conway 1892) 112年前 (Workman, 1899) 72年前 (Shipton, 1939)
34年前 (ソ連邦参謀本部20万図 / 上の10万図(1977)から左図を編集) 現代

つづいて、
2. 今西錦司さんが関わった海外の調査と探検・登山活動
(AACK「50年史」により、戦前の「外地」を含む。)

- ・1932 樺太東北山脈
- ・1934～35 白頭山
- ・1936 華北・満洲
- ・1937 樺太中央山脈
- ・1938と39, 44～45 内蒙古
- ・1937 樺太中央山脈
- ・1941 南洋(ミクロネシア)
- ・1942 北部大興安嶺
- ・1952 中部ネパール(マナスル踏査隊)
- ・1955 京大カラコラム学術探検隊
- ・1958と61～64, 等 東アフリカ (これ以降の記載は割愛)

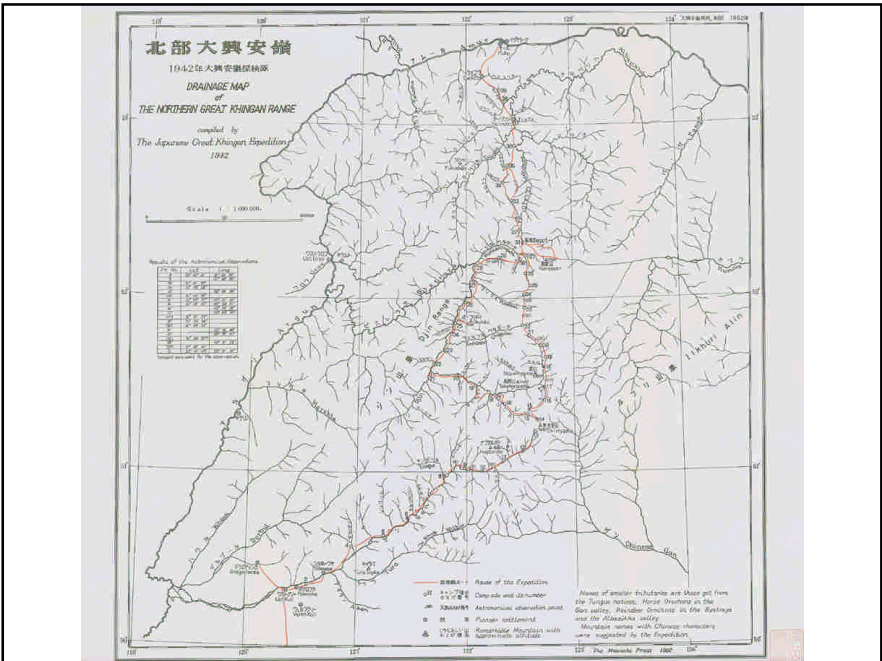
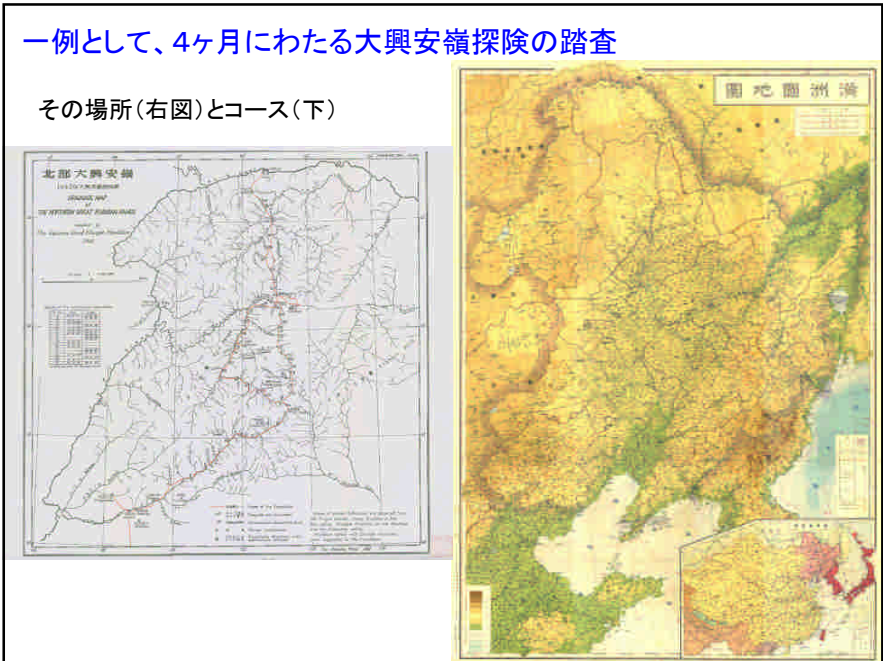


(今西さん初期の著作 『山岳省察』の表紙カバー)

カラコルムの地図作成小史と、今西さんのカラコラム探検の頃

一例として、4ヶ月にわたる大興安嶺探検の踏査

その場所(右図)とコース(下)



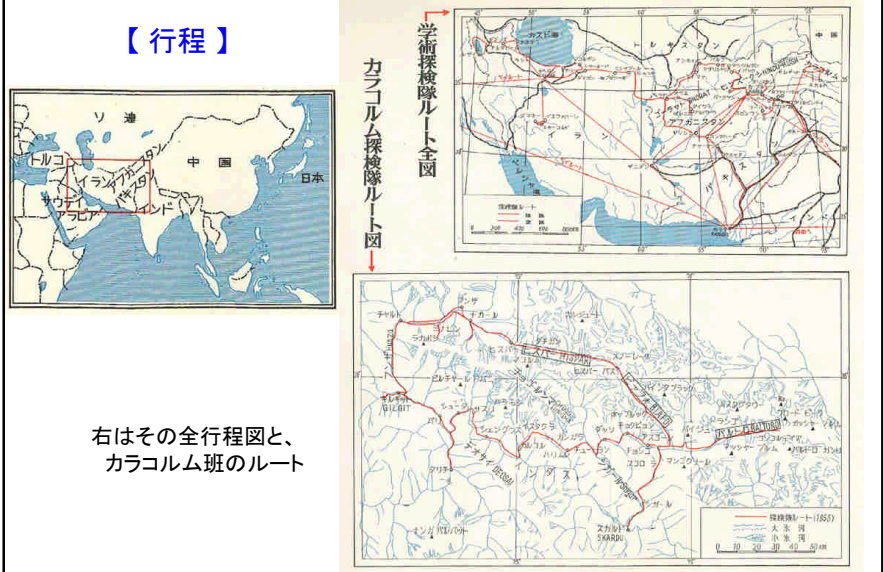
『山岳省察』中の図版より



(左より、蒙古の旅、白頭山前進キャンプ、樺太。)

更に続いては、その 3. 昭和30年「京大学術探検隊」の事績
ー その、カラコルム・ヒンズークシュ探検 について

【行程】



右はその全行程図と、
カラコルム班のルート



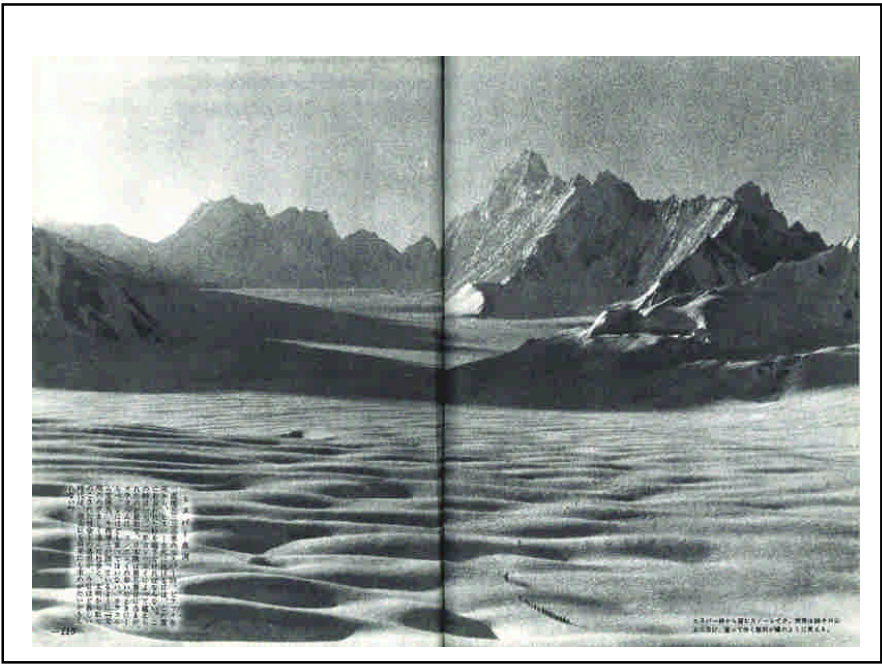
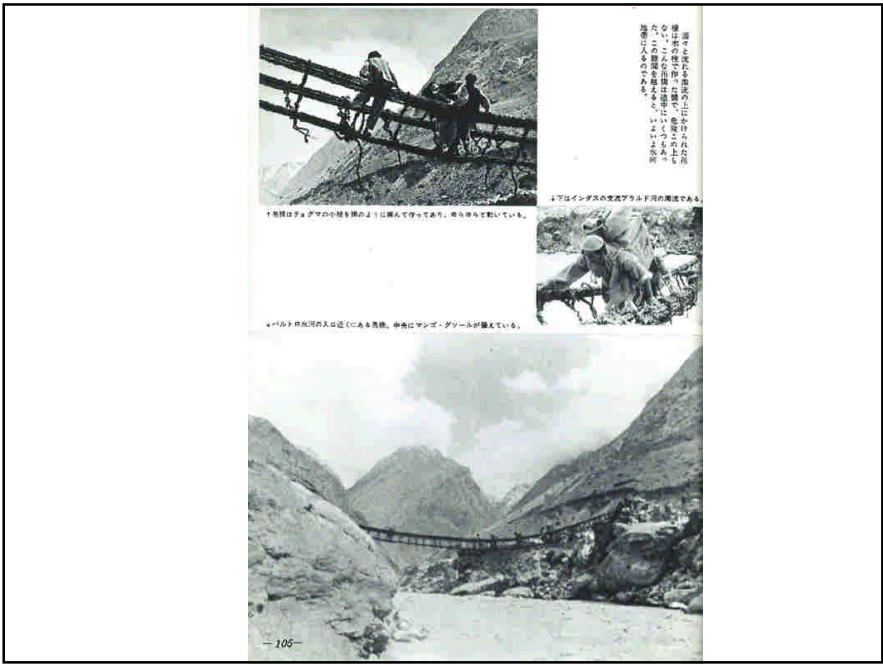
世界の屋根と冒険のヒマラヤ山脈。その北にそびえるカラコルム山脈、そしてその中に隠れた大氷河地帯。ここには世界に未だ知られていない地球運動の数々の歴史が秘められている。そのカラコルム山脈は、ヒンズークシュ山脈に比べると広大な草原と砂漠。ここにもまた多くの自然の秘密とともに人類文化発展のあとが残されている。

この世界の謎を求めて、京都大学カラコルム・ヒンズークシュ探検隊は、昭和三十年五月十四日、日本を出発したが、これはその貴重な記録である。

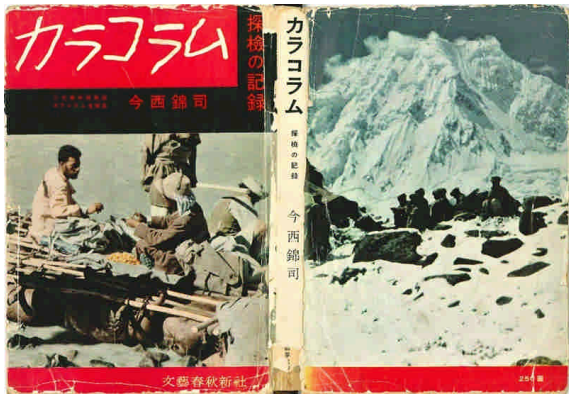


パルトロ氷河にて世界第二の高峰K2。も撮影中の村田カメラマン。

カラコルムの地図作成小史と、今西さんのカラコラム探検の頃



今西さんによる著作



映画『カラコラム』東宝、昭和31(1956)年 —その記録は映画にも



この映画の公開は、敗戦から10余年後の日本社会に大きな夢と感動を。フィールド調査を志向する青少年や山好きの人々に大きな刺激と、海外登山へのあこがれをかき立てた。

カラコルムの地図作成小史と、今西さんのカラコラム探検の頃

記録写真をまとめた写真集の出版も



今西さんの探検ルートに沿って(最初の3枚は、現代のカラコルムハイウェイ沿い)



カラコルムの地図作成小史と、今西さんのカラコラム探検の頃



今西さんの探検ルートに沿って、バルトロ氷河へ



氷河舌端の上面に立って下流を



カラコルムの地図作成小史と、今西さんのカラコラム探検の頃



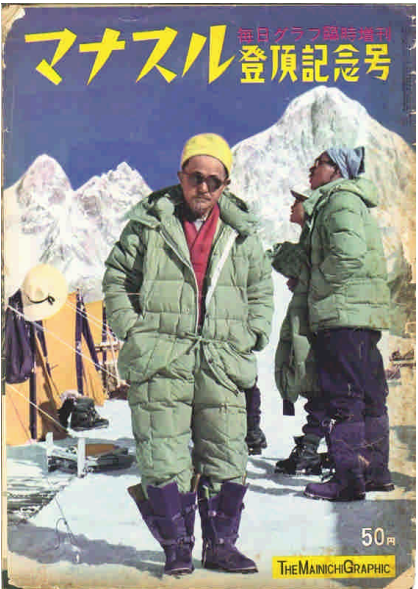
カラコルムの地図作成小史と、今西さんのカラコラム探検の頃



カラコルムの地図作成小史と、今西さんのカラコラム探検の頃

3. の附 日本隊による、その後の登山と地図作成

附-1. マナスル



マナスル登頂記念

(日本人初の8000m峰登頂の成功は国民的壮挙となり、記念切手が発行された。)

マナスル登頂は1956年だが 1952年の踏査隊

今西さんは、1952年の「踏査隊」で現地へ。





先立つ「踏査隊」(最初の現地偵察隊)のため、各地域へ



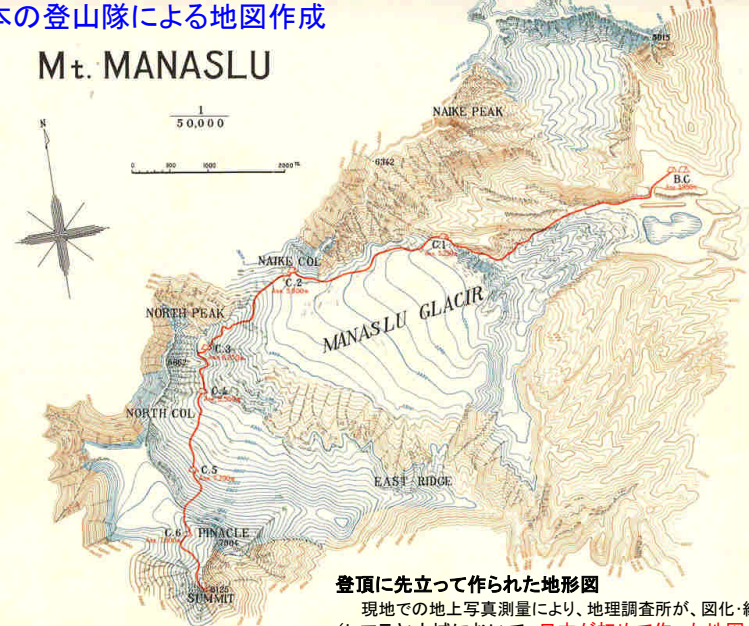
6200 メートルのチュルー頂上目ざして 5850 メートルのキャンプを出発する朝 ここから見るアンナブルナ第3峰はいよいよ高い



アンナブルナ第4峰下での 左から林 高木 今西 中尾 田口 右は後発した竹節の各隊員

日本の登山隊による地図作成

Mt. MANASLU



登頂に先立って作られた地形図
現地での地上写真測量により、地理調査所が、図化・編集
(ヒマラヤ山域において、日本が初めて作った地図。)

すばらしい写真の数かず



巨峰マナスルを見上げる朝のベース・キャンプ 6月3日 竹節作太郎撮影
カメラ: 85mm 絞り: F2.8 28mm フォトグラフ: 1/1000 28mm 28mm 28mm

Morning scene of Base Camp with background of great Manaslu. —Photo by Sakata Tadahiko.

カラコルムの地図作成小史と、今西さんのカラコラム探検の頃

すばらしい写真の数かず



この場合も、記録映画が



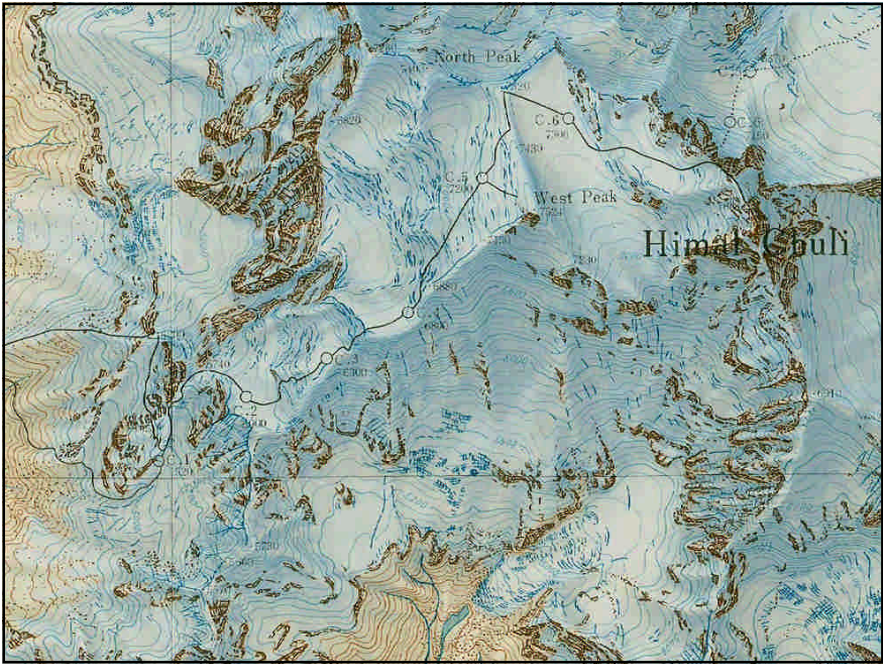
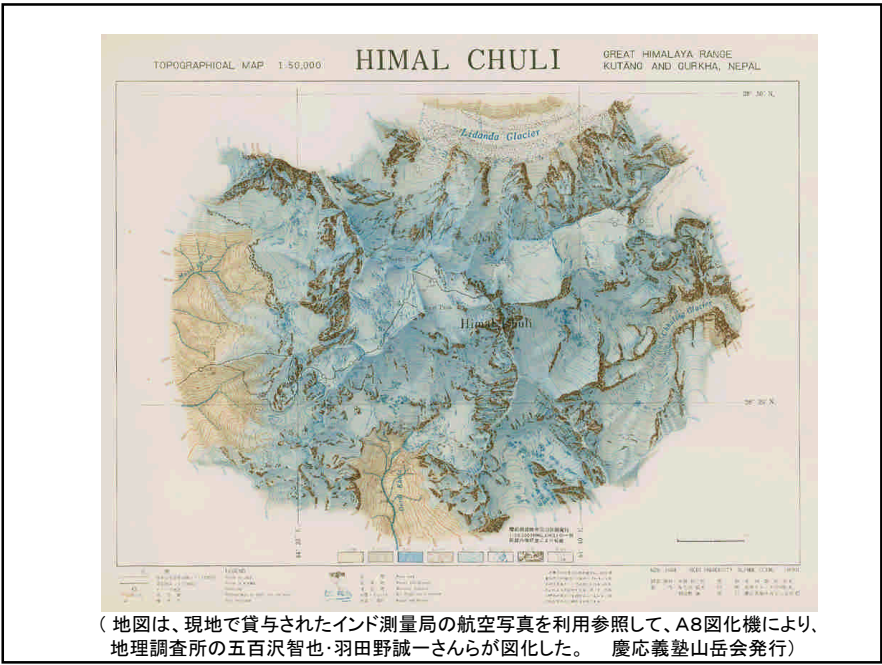
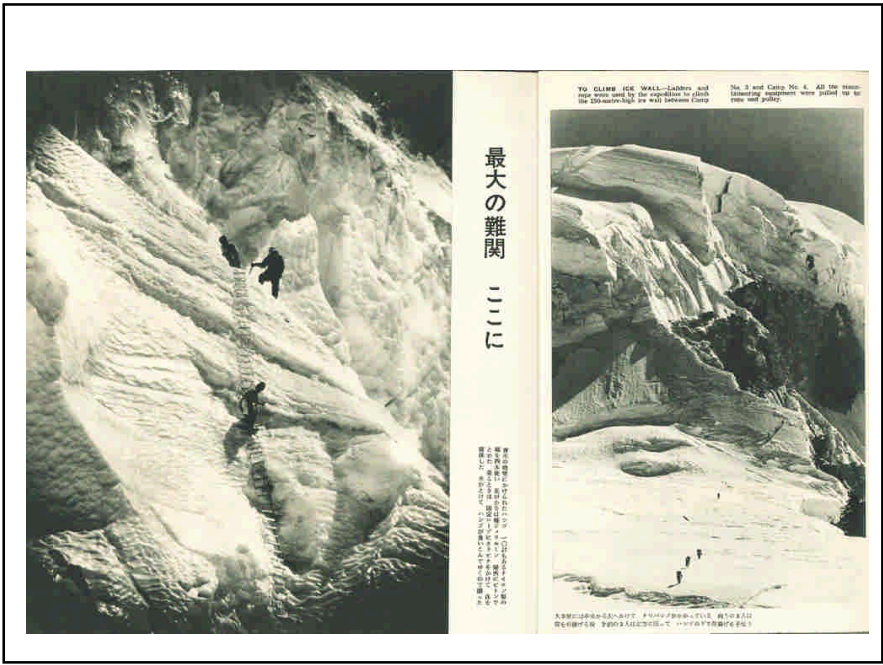
附-2. ヒマルチュリ

日本によるヒマラヤの地図作成：

その2つ目のヒマルチュリが最後となり、
それ以後は、登頂に先立つての地形図は
作られなかった。



カラコルムの地図作成小史と、今西さんのカラコラム探検の頃



日本人による海外調査・登山の 最後に

かつての、カラコルム探検の記録映画
最近、そのDVD版(解説書付き)が複製発行

解説書中での、梅棹忠夫さん
(探検ではアフガニスタン班に参加)による監修文：

「・・・これを読めば、野外研究のふかまりが学術的な交流をうながし、さらにはあらたな分野を創成したことがことがわかりいただけるはずである。
未踏の大地(フィールド)へのところざしは、あらたな学問領域(フィールド)の開拓につながっている。このことを念頭に、あらためてふたつの映画を見なおしていただきたい。
これらの映画は、半世紀をへたいまなお、わたしたちを未知の世界にさそいだしてくれるであろう。」

DVD ブック
カラコルム / 花嫁の峰 チョゴリザ
フィールド科学のバイオニアたち

梅棹忠夫 [監修]
カラコルム / 花嫁の峰 チョゴリザ制作委員会 [編]

1980/79.4.8撮影 812.1 (1984) 税込 3,980円 巻数 5/12 2枚組 セット購入

花嫁の大地(フィールド)へのところざしは、新たな学問領域(フィールド)を開く。

京都大学学術出版会 1988年7月発行 210頁 定価 3,980円(税別) 送料別



このとりまとめに際して、次の各位・機関から、
資料の利用等の便宜を頂きました。

(五十音順:敬称略)

今西武奈太郎
五百沢智也
金子 民雄
坂井 広志
棚橋 靖
中村健次郎

グーグルアースの衛星画像
グーグルマップの衛星画像
(社)京都大学学術出版会
(社)日本山岳会
アルパインツアーサービス(株)
西遊旅行(株)
渡邊 正+岐阜県図書館

(吉田光雄, 2006)